

# 附属やまぐち学園だより

やまぐち学園教育目標:発見し、はぐくみ、かたちにする学びの広場  
めざす人間像:よりよい未来を共に創り出す人間

第4号 2020年9月24日(木)

山口大学教育学部附属幼稚園

〒753-0070 山口市白石三丁目1番2号 TEL 083-933-5960

山口大学教育学部附属山口小学校

〒753-0070 山口市白石三丁目1番1号 TEL 083-933-5950

山口大学教育学部附属山口中学校

〒753-0070 山口市白石一丁目9番1号 TEL 083-922-2824

## GIGA スクール構想

教育学部長 丹 信介

附属学校園は、今年度新学期早々に新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、臨時休校となりました。5月の後半から学校園での教育活動が再開され、現在は、学びの保証に向け、学校園での教育活動が進められています。学園だより第2号に記載されているように、休校中、限られた回数ですが、学校園では、ホームページやオンラインによる双方向型の情報通信技術（ICT）を活用して、幼児、児童、生徒の生活・学習支援を実施しました。コロナ禍のなか、国は、高速大容量のネットワーク環境と児童・生徒1人1台の端末の学校への整備を順次進めるGIGA(Global and Innovation Gateway for Allの略)スクール構想を加速化し、今年度中の児童・生徒1人1台端末の整備を目指しています。

すでに日常の社会では、様々な場面でICTが利活用され、ICTを基盤とした先端技術の導入などにより、Society5.0という新たな社会を迎えようとしています。これからの社会を生きていく子どもたちにとって、ICTの利活用は当たり前ものとなりつつあります。また、世界的には、学校教育の中においてもICTの利活用が進んでいますが、この点では、日本はかなりの遅れをとっているようです。

それでは、「1人1台端末」のICT環境を学校に整備することにより、どのようなことが授業等の学習活動の中で実現できるのでしょうか。例えば、教員は、端末を介して子どもたち1人1人の反応を把握し、それを踏まえて双方向型の一斉授業をすることが可能となります。また、1人1人の理解度を判断し、個々の理解度を助ける最適な出題により学びを支援する人工知能を用いたドリル教材などを利用すると、個々の子どもたちの理解度や特性に合わせた個別学習が可能となり、その学習履歴を蓄積することで、その履歴をもとに、教員が適切な学習支援を子どもたちに行うことも可能となります。さらに、知識や事象を様々な切り口でとらえ、整理していく思考のプロセスを支援するアプリを活用して、子どもたちが考えをまとめたり、その各自の考えをリアルタイムに共有し、多様な意見・考えを踏まえた協働的な学習に結び付けることも容易になります。このような点は、これまでの教育実践の中でも行われてきたことですが、ICTを活用することで、より効率的に効果的に実践することが可能になると考えられます。加えて、情報の吟味が必要ですが、国内外を問わず様々な情報を収集することが容易にできたり、遠隔システムにより、国内外とつながり、意見交換や交流をすることも簡単にできるようになります。

その一方で、情報モラルを含め、ICTを適切に利活用する方法に関する教育も必要となりますが、この点についても、様々な学習活動の中で実際にICTを活用することで、体験的に、その理解が深まるのではないかと考えられています。

「やまぐち学園」では、目指す人間像（子ども像）を『よりよい未来を共に創り出す人間』と定め、幼小中一貫教育に向けた取組を進めています。この取組の中に、「1人1台端末」のICT環境を活かすことで、『よりよい未来を共に創り出す人間』像に向けた教育活動の一層の充実が図られるよう、学部としても支援をしていきたいと考えています。保護者や地域の方々の中には、ICT利活用に長けた方もおられると思います。機会があれば、ご支援をお願いいたします。

## 【附属幼稚園】

例年より早い2学期の始まりは、残暑が厳しい中でしたが、子どもたちは暑さに負けず元気に登園していました。

9月2日より教育実習が始まり、山大生が保育に入っています。実習生は子どもを観察しながら、遊びや活動の進め方を考えたり、遊びで使う材料や環境構成を工夫したりして保育にのぞみます。保育後は、実習生と担任とで子どもの様子を振り返りながら、実感をもって学んでいます。

年長児はリレーや跳び箱、鉄棒などの運動的な遊びを楽しむ姿が多くなりました。今年度は、全園児一堂に会しての運動会の代わりに、降園前の時間を使って、保護者の皆さんに子どもたちが運動的な遊びに取り組んでいる姿を見てもらう予定です。子どもたちも張り切ることでしょう。



## 【附属山口小学校】

8月25日に山口商工会議所青年部の方をお招きして、3年生の子どもたちを対象に「やまぐち七たちょうちんまつり」の歴史や現在の取組等を学ぶ授業を行いました。この授業は道徳教育における伝統と文化の一環として行ったものです。密を防ぐため、1クラスはオンラインにより教室で授業を受けました。「ちょうちんまつりが昔からあったということを知らなかったの、よい勉強になりました」「また来年行きたい」と話す子どもたちもおり、自分たちが住む地域の伝統と文化に関心をもつ姿が見られました。



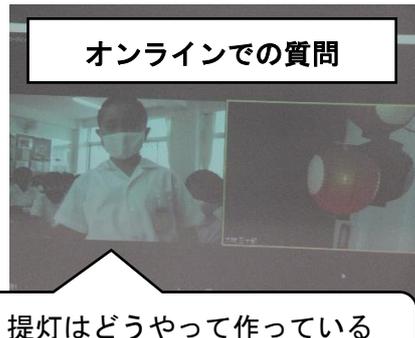
実物を見る活動

提灯の中に火を入れるって、初めて見るぞ・・・



青年部の方の丁寧な説明

歴史があるのだね



オンラインでの質問

提灯はどうやって作っているのですか？

## 【附属山口中学校】

9月10日、11日は第47回学園祭でした。両日とも午前中のみで開催しました。10日のカルチャーフェスタは、Fuchu TV という一つの番組として子ども達の劇や演奏などを生中継したり、興味のある内容を紹介する動画を制作してTV番組のように教室でみんなで視聴しました。画面から子ども達の生き生きした姿を見ることができました。11日のスポーツフェスタは新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、阿知須のきらら博記念公園の多目的ドームで開催しました。バレーボールや障害物リレーなどの他、ギネス記録に挑む種目もありました。四足歩行やランドリーマスター（3枚のタオルを見栄え良く干す早さを競う種目）、シャトルキャッチ（打ったシャトルを箸で掴む）など、珍しい種目に何度も挑戦しようとする子ども達もいました。



文化部門  
カルチャーフェスタ



体育部門  
スポーツフェスタ